

関係者各位

第19回日本保健科学学会学術集会 並びに一般演題募集の御案内

第19回日本保健科学学会
学術集会長 河原 加代子

本学会は、保健医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的に設立された学会です。看護学・理学療法学・作業療法学・放射線学など保健科学に関連するあらゆる分野の実践者・研究者及び教育者が一同に集い、学問の交流を通して保健医療の実践を高める場になることを目指しております。

日頃の研究成果の発表の機会として本学術集会へふるってご参加いただきますようお願い致します。

1. 会場 首都大学東京 荒川キャンパス (旧東京都立保健科学大学)
〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10

2. テーマ 「コミュニティケア～生・老・病・死をささえるネットワーク」

3. 開催日およびプログラム

平成21年9月19日(土) 9:30～17:30, 懇親会 18:00～20:00

・シンポジウム(健康福祉学部共催)「生活習慣病への新たな取り組み」(9:30～11:15)

◆ 三井洋子(株式会社 Dream Seed 代表)

テーマ: やりたいことを実現するための体調と気力の調整術
～体の声に耳を傾け、生活の癖を見直そう～

◆ 古川順光(首都大学東京健康福祉学部理学療法学科 准教授)

テーマ: 糖尿病・肥満の運動

◆ 新津守(首都大学東京健康福祉学部放射線学科 教授)

テーマ: メタボリックシンドロームの画像診断

・特別講演「メメント・モリ～死とささえ～」(13:00～14:00)

講演: 高橋卓志先生(松本市神宮寺住職)

・一般演題発表(9:30～17:30)

4. 参加費・演題登録料

・学術集会に参加される学会員の方は、参加費3,000円(参加証・抄録集代含む)を当日受付時にお支払いください。非会員の方は4,000円です。

・筆頭で演題発表をされる方は、演題登録料3,000円を平成21年6月3日(水)までにお振込みください。なお、筆頭演者の参加費は無料です。郵便振替口座は以下です(手数料は送金者負担でお願いします)。

郵便振替口座番号: 00100-1-721133

口座名義: 日本保健科学学会学術集会

・大学学部生・専門学校生は、学生証を提示すれば参加費は無料です。(抄録集ご希望の方は、別途購入してください)

・抄録集は1冊500円で販売します。

5. 演題発表応募要領

1) 資格

・筆頭演者(学術集会当日に口頭発表する者)は日本保健科学学会会員に限ります。まだ、学会員でない方は、日本保健科学学会事務局で入会手続きを行ってください。この場合、演題登録料以外に学会年会費10,000円が必要になります。なお、学会年会費10,000円の振込先は、演題登録料の振替先とは異なりますのでご注意ください。日本保健科学学会事務局の住所・連絡先は以下です。

〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10 首都大学東京 荒川キャンパス内
TEL : 03-3819-1211 (代表) 内線 270
e-mail : gakkai@hs.tmu.ac.jp (御利用の際には@は半角に直してください。)
ダイヤルイン : 03-3819-7413 (FAX 共通)

2) 演題応募方法と受理

- ・ 演題登録および抄録原稿の応募は、第 19 回日本保健科学学会学術集会のホームページから応募フォーマット (WORD ファイル) をダウンロードし、電子メールに添付して頂きます。ご注意ください。

なお、第 19 回日本保健科学学会学術集会ホームページの URL は、 <http://jahs19.umin.jp/> です。

- ・ 演題登録および抄録原稿の送付先電子メールアドレスは以下のとおりです。

jahs19th@hs.tmu.ac.jp

- ・ 演題募集期間

平成 21 年 5 月 1 日 (金) ~ 平成 21 年 5 月 31 日 (日) (締め切り厳守)

- ・ 筆頭演者 (学術集会当日に口頭発表する者) の入会手続きと演題登録料の入金が確認され次第、応募演題を受理することとします。
- ・ 演題および抄録原稿の受理後、電子メールで確認のご連絡をいたします。演題受理の連絡がない場合はお問い合わせください。
- ・ 原則として、演題受理後の修正は受け付けませんので、ご了承ください。

3) 演題抄録の作成と送付

A. 抄録の作成

- ・ 学会ホームページから、応募フォーマットをダウンロードして下さい。
- ・ 入力例 (図 1) を参考に、応募フォーマット (図 2) のタイトル、演者氏名、所属、キーワード、本文について、必要な変更を加えて下さい。
 - *本文の字数は 700 字前後です。そのままの形で印刷されますので、必ず 1 ページに収まるようにお願い致します。
 - *タイトルはゴシック体 (10.5 ポイント)、その他は明朝体 (9 ポイント) です。
 - *印刷に支障が出る特殊なフォントや記号、文字の使用はできません。
 - *抄録原稿の書式の改変や必要な情報の不足等により、演題の受付や査読できない場合がございますのでご注意ください。
 - *印刷の必要に応じて、実行委員会により、断りなく書式を一部変更する場合がありますので、ご了承ください。
- ・ ヒトや動物等を対象とした研究の場合、対象に対する倫理的配慮の内容または倫理委員会等で承認を受けた旨を抄録中に必ず記載してください。記載がない場合、査読の対象となりません。
- ・ 名前を付けてファイルを保存して下さい。ファイル名はご自分の演題タイトルにしてください。

B. 送付

- ・ 抄録を添付する電子メールの件名は 自分の演題タイトルー筆頭演者氏名 となるようにして下さい。
- ・ 文面は以下の通りにご記入下さい。
 - ①筆頭演者氏名 ②所属 ③連絡先住所 ④電話番号 ⑤FAX 番号 ⑥電子メールアドレス

老年看護学の授業における高齢 SP 参加コミュニケーション演習の効果

○首都花子1) 保健太郎2) 徳川秀吉3)
 1) 首都大学東京 2) 保健科学大学 3) 関東大学
 キーワード: **** # # # #

<p>【目的】通所リハビリテーション(以下、DC)サービスの目的の一つに、利用者の生活習慣づくりがある。ところで生活習慣と健康の関係については、食事や喫煙、余暇活動、運動習慣などに注目した報告はこれまで多く見られるが、生活習慣を構成する作業活動の意味すなわち日常的な作業に対する個人的意味づけに着目した研</p> <p>【方法】そこで本研究では生活習慣を構成する作業活動を本人にとっての意味の観点から調査し、その</p>	<p>「作業バランス自己診断」を用いた。が平均 14.6(±5.07)、DC のない日が 12.7(±4.40)であった。DC のない日の作業の7名、および、「マイナス型」8名であった。「マイナス型」8名中 5名は、DC 参加日には「均等型」あるいは「願望中心型」に変化していた。SF-36 の得点(国民標準値に基づく)を習慣が「マイナス型」群とそれ以外の群とで比較すると、全体的健康感(GH)46.9±9.94、活力(VT)48.4±8.91 で有意差が認められ、「マイナス型」群が低かった。</p>
--	---

図1 入力例

タイトル(10.5ポイント,ゴシック体,65字以内)

○演者氏名(区切りはスペース1字あける)
 所属
 キーワード:3~5語(区切りはスペース1字あける)

【目的】【方法】【結果】

図2 応募フォーマット

4) 応募演題の採択について

応募演題は、演題受理後に事務局において査読を行い、採否を決定いたします。採択の可否については後日電子メールにてご連絡します。なお、筆頭演者の入会手続きと演題登録料の入金が確認できない場合には受理とはならず、査読の対象になりませんのでくれぐれもご注意ください。

5) 演題発表

- ・ 演題発表形式は口頭発表とします。一般演題は1演題につき、発表時間7分、質疑応答3分、演題発表形式は、Windows版Microsoft Power PointによるPCプレゼンテーションとします。それらの規格の詳細については、発表要項を後日メールでご連絡します。
- ・ 最終的な演題発表時間は後日送付する抄録集(日本保健科学学会誌, vol.12 Suppl, 2009)でご確認ください。なお、演題発表を行うセッションはキーワード等を参考に学会集会実行委員会が決定させていただきます。

6. 学会集会に関する連絡・お問い合わせ先

演題申込など学術集会についてのお問い合わせは、下記の第19回学術集会実行委員会まで、電子メールでお問い合わせください。

第19回日本保健科学学会学術集会実行委員会

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10 首都大学東京 健康福祉学部 看護学科内

jahs19th@hs.tmu.ac.jp